



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月27日

上場会社名 株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート

上場取引所 東

コード番号 3850 URL <http://www.intra-mart.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山義人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 鈴木誠

TEL 03-5549-2823

四半期報告書提出予定日 平成23年7月29日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	636	6.1	△8	—	△10	—	△7	—
23年3月期第1四半期	600	—	△1	—	△1	—	△2	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 0百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 34百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△356.67	—
23年3月期第1四半期	△104.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,660	1,785	63.9
23年3月期	2,733	1,800	62.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,700百万円 23年3月期 1,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	700.00	700.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	900.00	900.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,554	13.9	81	9.1	82	14.4	47	17.1	2,122.56
通期	3,400	13.2	340	27.1	348	26.5	198	26.7	8,888.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	22,275 株	23年3月期	22,275 株
24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期1Q	22,275 株	23年3月期1Q	22,275 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により企業活動が停滞し、雇用情勢や設備投資も弱含みで推移しました。

情報産業分野においては、クラウドコンピューティングやSaaSといった新規分野の拡大により、Webシステムの重要性は一層高まっているものの、主に東日本大震災の影響を受けた地域や業種の設備投資に慎重な傾向が見られるなど、厳しい状況が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、「①市場におけるプレゼンスの確立、②高い品質及び顧客満足度の実現、③コーポレートガバナンスの充実」を当期の重点方針として掲げ、業績の向上に努めてまいりました。

具体的には、「市場におけるプレゼンスの確立」として、当社製品がNTTドコモが提供する法人向けクラウドサービス『モバイルグループウェア』に採用される等、スマートフォン等の新たな分野に対して積極的に事業展開を図りました。

また、株式会社富士キメラ総研発行の「ソフトウェアビジネス新市場2011年版」の「ワークフロー市場」分野において、2008年の調査開始以来、4年連続第1位を獲得しました。

「高い品質及び顧客満足度の実現」としては、市場や顧客から要望の高かった、高い開生産性の実現を目的として「intra-mart eBuilder Version7.2」の機能強化を実施し、「SAstruts+S2JDBC」への対応を実施するなど、従来より一層の開生産性の向上を実現しました。

この結果、売上高636,722千円（前年同四半期比6.1%増）、営業損失8,073千円（前年同四半期は営業損失1,578千円）、経常損失10,040千円（前年同四半期は経常損失1,775千円）、四半期純損失7,944千円（前年同四半期は四半期純損失2,321千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(イ) パッケージ事業

「intra-mart」は、全国の特約店パートナーを通じて販売しており、東日本大震災の影響により、一部案件で延期や中断などが見られたものの、ワークフロー機能を強化した新製品を中心に、基盤製品が堅調に推移し、また保守についても引き続き好調に推移しました。

この結果、売上高は370,882千円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

(ロ) サービス事業

「intra-mart」を利用したシステム開発やコンサルティングなどの周辺サービスは、中国子会社のオフショア開発の受注にかげりが見られるものの、昨年度から引き続きクラウド基盤・モバイルといった先進的な大型SI案件の受注が続き、全般に堅調に推移しました。

この結果、売上高は265,839千円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

(当グループの四半期業績の特性について)

当社グループのパッケージ事業及びサービス事業（コンサルティング、システム開発等）は、一般企業を対象としており、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。サービス事業の一部の売上高の計上基準については、工事進行基準を適用しておりますが、売上高の大半が工事完成基準（検収基準）である当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2、4四半期に集中する傾向があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産は、売掛金の入金等に伴い流動資産が減少したことにより、2,660,743千円となり、前連結会計年度末に比べ72,895千円、2.7%の減少となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、パッケージ事業の製品保守の未経過分である前受金が増加したものの、買掛金や未払法人税等の支払に伴い流動負債が減少したことにより、875,648千円となり、前連結会計年度末に比べ57,250千円、6.1%の減少となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が減少したことにより、1,785,094千円となり、前連結会計年度末に比べ15,645千円、0.9%の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

情報産業分野は、東日本大震災の影響などにより、企業のIT投資は引き続き抑制される傾向にあると思われま
す。当社グループがターゲットとするWebシステムの環境も、クラウドコンピューティングやSaaS等の新たな分野
での展開が実現しているものの、これまで以上に投資対効果の高いサービスが求められており、引き続き厳しい環
境が続くものと思われま

す。このような状況のもと、当社グループは引き続きSaaS・クラウドコンピューティング分野への進出に向けた統合
的Webソリューションを提供するため、継続的な製品開発やソリューションの開発を積極的に取り組んでいきま
す。

また、短納期・低コストといった市場動向は続くと思われま

すが、グループ全体で付加価値の高いソリューションの提供やサービスレベルの向上を実現することにより、エンタープライズ領域への事業領域の拡大を図ります。
なお、パッケージ事業においては、震災の影響で受注状況に遅れが見られるものの、サービス事業においては当
初計画どおり受注獲得されている等、第1四半期の業績も概ね堅調に推移していることから、業績予想に変更はあ
りま

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	727,229	849,087
関係会社預け金	403,671	454,103
売掛金	618,762	250,015
たな卸資産	14,016	101,112
繰延税金資産	32,490	37,657
その他	77,994	104,559
貸倒引当金	△37	△35
流動資産合計	1,874,128	1,796,499
固定資産		
有形固定資産		
建物	34,341	36,482
減価償却累計額	△20,848	△22,259
建物(純額)	13,492	14,222
工具、器具及び備品	44,188	48,185
減価償却累計額	△23,823	△25,673
工具、器具及び備品(純額)	20,365	22,512
有形固定資産合計	33,858	36,734
無形固定資産		
ソフトウェア	436,926	424,565
ソフトウェア仮勘定	133,245	132,620
その他	72	72
無形固定資産合計	570,244	557,258
投資その他の資産		
投資有価証券	100,000	100,000
敷金及び保証金	96,652	111,315
繰延税金資産	56,889	57,402
その他	1,865	1,533
投資その他の資産合計	255,407	270,250
固定資産合計	859,510	864,244
資産合計	2,733,639	2,660,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,107	134,864
未払法人税等	62,687	4,599
前受金	380,567	510,720
賞与引当金	53,784	14,715
その他	122,113	121,717
流動負債合計	851,261	786,617
固定負債		
退職給付引当金	80,159	87,551
資産除去債務	1,477	1,479
固定負債合計	81,637	89,031
負債合計	932,898	875,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,262	516,262
資本剰余金	446,262	446,262
利益剰余金	778,328	754,791
株主資本合計	1,740,853	1,717,316
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△20,448	△16,597
その他の包括利益累計額合計	△20,448	△16,597
少数株主持分	80,334	84,375
純資産合計	1,800,740	1,785,094
負債純資産合計	2,733,639	2,660,743

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	600,100	636,722
売上原価	338,139	385,938
売上総利益	261,961	250,783
販売費及び一般管理費	263,539	258,857
営業損失(△)	△1,578	△8,073
営業外収益		
受取利息	102	450
その他	394	46
営業外収益合計	496	497
営業外費用		
為替差損	693	2,464
営業外費用合計	693	2,464
経常損失(△)	△1,775	△10,040
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,775	△10,040
法人税等	△22,966	△3,568
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	21,191	△6,471
少数株主利益	23,513	1,473
四半期純損失(△)	△2,321	△7,944
少数株主利益	23,513	1,473
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	21,191	△6,471
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	13,243	6,417
その他の包括利益合計	13,243	6,417
四半期包括利益	34,434	△53
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,864	△4,094
少数株主に係る四半期包括利益	28,569	4,040

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	339,485	260,615	600,100
セグメント間の内部売上高又は振替高	174	35,846	36,020
計	339,659	296,461	636,121
セグメント利益	52,942	47,181	100,124

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	100,124
セグメント間取引消去	△2,847
全社費用（注）	△98,855
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△1,578

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	370,882	265,839	636,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,168	9,837	11,006
計	372,051	275,677	647,728
セグメント利益又は損失(△)	95,234	△15,100	80,134

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	80,134
セグメント間取引消去	3,551
全社費用(注)	△91,758
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△8,073

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。